



市政の発展に尽力

長井由喜雄 議員（7期）が地方自治の進展に貢献した長年の功績を称えられ、新潟県知事から表彰されました。
12月24日、議場において、表彰状の授与が行われました。

議員表彰



長井由喜雄 議員

「燕市議会の見える化」を目指しています



平成25年の庁舎建設時から使用してきた現行システムの老朽化により、不具合等が生じていたため、議場の音響・映像システムなど議会運営に必要な会議システムを更新し、令和7年12月定例会から新システムによる運用を開始しました。



After 議場はこう変わりました



議場モニターを大型化 資料を表示可能に

50インチから65インチモニターに変わりました。傍聴席モニターへ希望する議員の一般質問時の補足資料も表示することができ、傍聴者にも内容が伝わりやすくなりました。

これが傍聴席のモニターです。
資料が映し出されます。



ぜひ傍聴にお越しください。

燕市ホームページでも、定例会や常任委員会のインターネット配信を行っていますので、こちらでもご利用ください。

質問項目▶ 小中学校の適正配置 心を育てる教育



録画映像

小中学校の統合・複式を問う

おかやまひでよし 岡山秀義

（創成）



答弁 児童生徒数の動向を踏まえ検討している

問 本市における小中学校の適正配置の基本的な考え方を伺う。どのような視点で検討を進めているのか、現状と今後の見通しについて伺う。

答 市教育委員会では燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、小、中学校の将来的な児童生徒数の動向を踏まえ、校区の見直しや学校の統廃合などの適正配置について複式学級となることが見込まれるなど、見直しの時期が

少子化がさらに進む
み、子供が「生きる力」を培うことができる学校教育を保障する観点から、学校の適正配置を検討することが必要である。適正配置を検討するに当たっては、施設の老朽化や、交通環境の整備、地域により人口動態が大きく異なることなど、学校を取り巻く社会状況が変わってきていることも踏まえることや、保護者や地域住民へ丁寧な説明をしながら計画していくことが重要である。



燕市HP
「小中学校の適正配置」

児童生徒数は令和12年度722人の減となる見込み。統合や複式はどの学校でも起こり得る

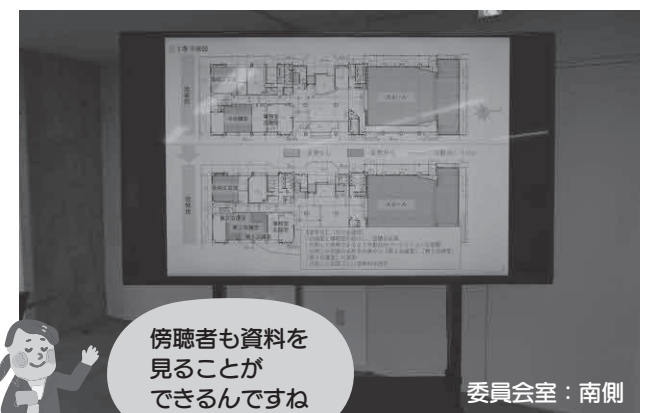
到来した学校から順次検討している。現在、分水北小学校と島上小学校の2校で子供たちのより良い教育環境に関する検討を行い、燕市立学校のあり方検討委員会を両校に設置し、延べ6回の委員会を開催して検討を重ねているところである。

After 委員会室もこう変わりました

傍聴席側にモニターディスプレイを設置

傍聴席への資料表示のため43インチディスプレイを新たに2台設置しました

委員会室にも15席ほどの傍聴席を用意してあります。お気軽にお出ください。



傍聴者も資料を見ることが
できるんですね

委員会室：南側

カメラを2台追加し 計3台で配信

議員側・執行部側にそれぞれ1台ずつを新たに設置し、映像の死角を解消しました。さらに発言者の議員名や執行部側の役職名が同時に表示されます。12月議会から委員会の様子も臨場感を持ってお伝えしています。

燕市議会では「広く市民に開かれた議会」に向け取り組んでおり、アンケートを実施しています。今後の議会運営の参考とさせていただきますので、議会の傍聴にいらした際やインターネット配信をご視聴の際には、アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。



市議会の傍聴のご案内



議会定例会・臨時会の中継・録画映像はこちらからご覧いただけます